

マレーシア便り (第 15 回)

兵庫県立津名高等学校
理科 物理担当 井俣 由貴史

こんにちは。8、9月の気候はいかがでしたか。日本から来られた方からは、マレーシアより日本の方が暑いと伺いました。また、最近マレーシアではヘイズ（≒スモッグ）がひどくなってきています。乾燥していて、上空に雨雲があるのにも関わらず、雨が降らないことによって、雲と地上の間の空気が循環せずに漂います。乾季には、夕方にはざっと雨が降るのが日常ですが、最近は雨が全然降りません。喉が痛くなります。困ったものです。

さて、8月にはスポーツ大会、日本語スピーチコンテスト、期末考査、ビジターセッションという学校行事がありました。また、シャーアラムという街で、世界一大規模と言われている盆踊りがありました。

スポーツ大会の種目は4種目で、午前中に行われます。その中の綱引きは予選と決勝があり、特に盛り上がりました。種目やルールは生徒たちが決めるので、手作り感満載な大会になりました。

日本語スピーチコンテストは、マラヤ大学を会場として全国大会が行われました。学内選考で選ばれた3人がこの大会に出場しました。全国から集まった生徒の中には、華人やマレー系、様々な人種がいて、こんなに多くの学生が日本に留学するために、日本語を勉強しているのだなと感心しました。留学先として選ばれている国として、もっと自分も頑張らないといけないと感じました。そして、とても流暢に話すその日本語にとっても驚かされました。

9月4日（金）にはビジターセッションという行事がありました。1年生は10月から、英語の授業以外はすべて日本語になります。1年生の生徒が日本語に慣れるために、そして、日本語を学ぶモチベーションを上げる目的で行われます。教員以外の人々の生の日本語を聴くことによってレベルアップを目指します。私は教員ですが、一般人として参加しました。生徒はかなり前から、この日のために準備をしていました。私の班では、地方の特産物、こま、マレーシアの遊びなどを紹介してくれました。地方の特産品では、日本の薩摩揚げに似ているものがあり、味は多少異なりましたが、とてもおいしくいただきました。こまの体験では、日本のこまと異なって、回すのがとても難しいものでした。日本のものと比べると、マレーシアのこまは細長く、半径が小さいです。よって、こまがバランスをとるのが難しく、なかなか回すことができませんでした。しかし、日本のこまのようにこまの下側を下にして投げるのではなく、こまの下側を上にして投げると、当日一番難しいと言われていたこまをなぜか4回中4回、回すことができました。うまくいったのですが、回すことができた理由がわからず複雑な気分でした…。行事全体を通して、生徒はビジターとたくさん話をして、教員からではない生の日本語を聴くことができ、とてもよい勉強になったのではないかと思います。

9月5日（土）には世界一大規模と言われている盆踊りがありました。今年で第39回目になります。夜店では、すし、たこ焼き、焼きそば、いか焼き、かき氷などがあり、会場には3万人以上が集まり、マレー系、インド系、華人たちも浴衣を着て、日本の祭りを楽しみました。

【盆踊り】



【スポーツ大会】



【日本語スピーチコンテスト】



題目「若者」
最近の若者のマナーの悪さ、
次世代を担う大事さを訴えた



題目「小さなこと」
小さなことを粗末にすると大事なことが
できなくなることを訴えた

【ビジターセッション】

